

3類型	農林水産物	通巻番号	3-19-021
地域資源名	甲斐八珍果	認定日	平成19年10月12日
地域	山梨県中央市	所管省庁	経済産業省、農林水産省

事業名：県産フルーツの加工技術の開発並びに同技術を活用した新製品開発と販売

会社名：株式会社渡辺商店

所在地：山梨県中央市山之神流通団地
1-1-1

連絡先：TEL：055-273-5511

FAX：055-273-0345

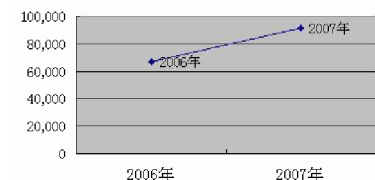
H P：http://www.watanabeshoten.net/

事業概要(新たな活用の視点)

- ・フルーツ王国と呼ばれる山梨県だが、果実の加工品はほとんどない。これまで生の状態で出荷することが多く、果実を加工する施設も無いのが現状。
- ・地域資源の桃や葡萄に代表される甲斐八珍果をドライ・セミドライ化して、新たな商品を開発し、市場を開拓する。
- ・自然環境に恵まれた山梨県産のフルーツはクオリティが高く、市場でも高く評価されており、新鮮な果実を高い技術で加工することで、競争力の高い商品を開発する。
- ・地域貢献性では、通年販売可能な商品を提供するため、地域に安定した雇用を生み出す。
- ・「食の安全」が問われる今日、消費者のニーズに応える商品を武器に、輸入品一辺倒のドライフルーツ市場に参入する。



ドライフルーツ年度別出荷実績



弊社ドライフルーツ2006年～7年の出荷実績です。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・生産者を明確にし、素材の安全性を確保する。さらに添加物を極力抑えた加工技術を開発することで、より高い安全性を追求し、輸入品との差別化を図る。

◆市場性

- ・弊社のドライフルーツ(輸入品)の出荷実績は昨年比136%と高い伸びを示しており、著名パティシエからも優良な洋菓子用フルーツの素材開発を要望されるなど、市場の有望性が示されている。

◆販路

- ・高級ブランドと量産ブランドの2種類を開発し、マーケティング活動を行う。

地域資源における関係事業者との連携

- ・地域資源活用型研究開発事業を活用し、コンソーシアムづくりを行い、加工技術の開発を行う。



写真提供

社団法人日本洋菓子協会連合会

【過去の県産生鮮果実加工例】

山梨県で栽培した果実等を首都圏の洋菓子の職人により加工した例です。